

桑名市空家等対策計画改定版（素案）に関するパブリックコメント実施結果

「桑名市空家等対策計画改定版（素案）」に対して貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見とそれに対する市の考え方を公表いたします。

番号	ご意見	市の考え方
1-1	<p>地域住民の役割として「情報提供」が挙げられていますが、住民同士のトラブルを避けるため、LINE や専用フォーム等で、写真と位置情報を市へ直接・匿名で通報できる仕組みを整備してください。</p> <p>特に、会員数の減少、高齢化が進む自治会において、近隣の空き家所有者に直接働きかけたり、電話で詳細を説明したりすることは心理的・物理的に大きな負担となってしまう。所有者の半数が「空き家っていない」現状を踏まえ、単なる「空き家対策」ではなく、「相続登記の義務化」や「実家の終活（生前整理）」と組み合わせた、自分事として捉えやすい啓発も。計画にある PDCA サイクル を機能させるためには、具体的な数値目標が必要なので必要材料を集めてきちんと実現可能な数値目標の設定を。市外の所有者、市内の所有者が物理的に維持・管理出来ないことを可能性に入れて、持続可能な有償の空き家に関するサービスにしたほうがいい</p>	<p>管理不全な空家等の情報提供の取り扱いについては、トラブル防止などに注意を払っております。また、通報方法については、従来の来庁に合わせて今年度から電子専用フォームにより通報できるよう整備しております。</p> <p>啓発については、パンフレットを作成しており、今年度から相続登記の義務化や、遺品整理、生前整理に関する記事も掲載し、空家等の所有者が自分事という認識をもてる構成としております。</p> <p>なお、今年度に実施した市内の空家等の実態把握調査結果などを必要な基礎材料として、桑名市空家等対策協議会などを通じて実現可能な数値目標の検討をし、PDCA サイクルにより取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>最後に、持続可能な有償の空き家等に関するサービスにつきましては、空き家バンク制度を活用し、流通しやすい持続可能な環境を整え、地域の有効資源の活用を推進しております。</p>